

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

通信自由化とグローバル化で再編が進むプロバイダー業界 21世紀に生き残りを目指した買収劇

本誌の巻末に掲載しているISPは大小とりまぜてなんと833社(1998年10月1日現在)。4年前の本誌創刊時にはわずか数社であったのに、よくぞここまで増えたものだ。しかし、このプロバイダーがいま大きな曲がり角に差しかかっている。NTT自身が展開するプロバイダーであるOCNの躍進、そして電気通信事業者法の改正によって、巨大な外国資本の電気通信事業者が参入を始め、生き残りをかけたベンチャープロバイダーの買収や大資本との合併事業の開始など、急激に動きだした。本誌編集長：中島由弘

大資本と提携をすすめる 大手プロバイダー

プロバイダー再編の動きは、この春からあった。プロバイダーの老舗でユーザーも多いベッコアメインターネットがアクセスポイントをすべてテレウェイ(日本高速通信)にアウトソーシングし、ベッコアメインターネット自体はユーザー管理とユーザーコミュニティの形成に専業することを発表した。プロバイダーとはそもそも接続サービスを提供する事業だと考えられていたのに、そのアクセスポイントをアウトソーシングしてしまうということに利用者はもちろん業界も騒然とした。

そして、この8月26日、米国PSIネット社はやはりプロバイダーの老舗であるリムネットの全発行済み株式を取得したと発表し、続いて9月3日、さらにトウィックスの全発行済み株式も取得し、2つのプロバイダーをPSIグループの傘下に収めた。

そして10月1日、米国PSIネット社は法人向け大手プロバイダーの東京インターネットの全発行済み株式も取得した。今後は第一種電気通信事業者の認可を郵政省に申請することも明らかにしており、リムネット、トウィックスの資産であるダイヤルアップ接続サービスの資産、そして東京インターネットの専用線接続サービスの資産を足がかりに、グローバルなスタンスに立ったプロバイダー事業を展開していくことになる。

このように米国PSIネット社が日本の老舗プロバイダーを傘下に収めた裏には、通信のグローバル化をにらみ日本市場に進出したいと考える米国プロバイダーといまの経営形態のままでは生き残れないと懸念していた国内のプロバイダーとの思惑の一致がある。

一方で、大手プロバイダーであるIIJも、ソニー、トヨタ自動車と共同でデータ通信サービス会社を設立することを明らかにした。

この新会社は99年春をめどにサービスの開始を目指し、この11月にも第一種電気通信事業者の認可を郵政省に申請することを予定している。料金もこの11月より認可制から届出制に緩和されて自由度も増すことから、NTTよりも安価な価格設定をする戦略だ。

プロバイダーは第一種事業 でなければ成り立たない?

本誌で把握している国内のプロバイダー833社のうち、多くは「草の根」プロバイダーともいうべきもので、決してユーザーの数は多くないが、小規模なビジネスとしては十分に成立している企業である。現在のようにインターネットが普及した陰には、大手が手を付けたがらなかった地域を中心とした「草の根」プロバイダーの存在が大きかったことは否定できない。

一方で、大手のプロバイダーは全国にアクセスポイントを展開し、10万人以上もの顧客にサービスを提供するため、ハードウェアや回線に多額の設備投資をしてきた。しかし、競争の激化から徐々に接続料金は下げざるを得なくなり、かけた投資が十分な収益に結びついていないという声を耳にするようになった。しかも、NTTという回線を保有するキャリア自らが安価なプロバイダー事業を行うOCNの登場など、プロバイダーにとっては必ずしも安泰な市場環境ではなかった。

ベッコアメインターネットの尾崎社長はかつて「顧客1人あたりいくらの設備投資をすれば十分に満足してもらえるのかという関数を見出せなかった」と言っていた。インターネットが普及するにつれて、1人あたりの接続時間は長くなり、また情報量も増えていく。そしてユーザーがインターネットに依存すればするほど、品質に対する要求は厳しくなることはもちろん、回線やサーバーを増強しても自社の顧客以外の人からコンテンツにアクセスすることで発生するトラフィックの増加によって、自社の顧客の満足度にはつながらないということだ。

また、東京インターネットの高橋徹会長は「二種事業者にとっては、諸外国と比べて高コスト構造を持つNTTなどのキャリアに支払う回線代が事業収益を圧迫し始めている」と現状を説明し、「プロバイダー事業は回線を保有しているキャリアへの奉仕になってしまっている」とも言っている。つまり、第二種事業者はあくまでNTTから回線を「卸してもらって」事業をしているのに対し、NTTは自社の回線でOCNという安価なサービスを作り出していることは健全な競争とはいえないという主張だ。

背景には通信の自由化による 外資系企業の参入

インターネットブームの追い風に乗って、実に多くのプロバイダーが登場した。一時期は料金競争によって、利用料金は十分に値下がりをした。利用者側としては安価な傾向は喜ばしいことであるが、プロバイダーの収入は圧迫された。そこにNTTのOCNという安価な常時接続サービスが登場し、ついに二種事業者、それも比較的大規模なサービスを提供する特別二種電気通信事業者が圧迫されているということだろう。

それに加え、電気通信事業者法の改正によって、米国のメガキャリア（大資本の電気通信事業者）が続々と参入してくる。すでに米国ワールドコム社も国内での一種事業の認可を受け、東京都の中心部などの下水道管に光ファイバーを敷設する事業を始めようとしている。そして今後もプリティッシュテレコムをはじめとして、続々と参入してくることが予想される。

国内の通信インフラは 外資系に握られてしまうのか

これまでNTTのほぼ独占状態であった通信市場に大資本の外資系キャリアが続々と参入することによって、プロバイダー間の競争は激化するものと思われる。もちろん公正な競争が行われることが基本である。ユーザーにとってはより安価なサービスが提供される可能性があるのでは、おおいに期待したいところだ。

しかし、NTTや外資系メガキャリアと真っ向から勝負して勝ち残っていくためには、自社で回線を保有する第一種事業者として、巨大な資本を投入しなければならない。第二種事業者としては、中途半端な展開では今後どうなるかわからないということだろう。

一方で、21世紀に向けて重要な社会資本になると考えられる通信インフラを外資系の企業に握られてしまうのではないかという危惧もある。激しく攻勢をかける外資系プロバイダーに対して、どのように応戦していくのか。まさにいま日本の通信業界は曲がり角にきているといえるだろう。

URL <http://www.rim.or.jp/release/psi19980826.html>

URL <http://www.tokyonet.ad.jp/news/tnnews/news1002.html>

eye 2 またまた登場したあらたなテクノロジー シェアウェーブ

本誌11月号では家電製品をインターネットにつなぐ技術として、サン・マイクロシステムズ社の「Jini」を紹介したが、今月はさらに新しいテクノロジー「シェアウェーブ」を紹介しよう。

編集部

シェアウェーブ社はマイクロソフト、インテル、シスコシステムズ、フィリップスなどが出資をしている技術開発会社だ。

「シェアウェーブ」はパソコンとテレビ受像機に専用のワイヤレスネットワーク(2.5GHzの電波を使う)のアダプターを接続し、テレビの画面でパソコンのソフトウェアの画面を操作するものだ。テレビ受像機を使ってインターネットを利用する装置としてはWebTVがあるが、セットトップボックスでソフトウェアを動かすため、ソフトウェアの互換性やファームウェア(WebTVのオペレーティング

システム)のアップグレードに問題を残した。

シェアウェーブでは、すべてパソコンの上でソフトウェアは動いており、単に画面とキーボードの入出力だけをテレビで行うため、こうした問題はなくなる。しかも、パソコンとテレビの双方で同時に別のアプリケーションを操作できるので、パソコンがインターネットにつながっていれば、複数の人が同時にインターネットを使うことができる。

今後はテレビだけではなく、電話機や液晶パッドなどの家電製品でも使える予定で、

家庭内のコンピューターやインターネットの利用を促進する製品になるかもしれない。

すでに国内の大手家電メーカーがこの技術のライセンス契約にサインをしたといい、おそらく年内にはなんらかの製品が発表されることになるかと予測される。

URL <http://www.sharewave.com/>



シェアウェーブの利用概念図

21世紀のデジタル社会が見える WORLD PC EXPO 98開催

アジア最大のパソコン総合展「WORLD PC EXPO 98」が9月30日から10月3日まで千葉の幕張メッセで開催された。今年は、イベント開催前にアップルの逆襲や新デバイスの開発、新製品発表と話題が多いうえ、幕張メッセの全11ホールを使用しての開催だけに、過去最高の集客で盛り上がりを見せた。インターネットやモバイルに関する部分を中心に会場の様子をレポートする。

編集部



会場の外には巨大iMacも登場

インターフェイスを束ねた情報コンセントを使って仕事をする新しいオフィスのあり方をアピールしていた。

21世紀のホームオフィスを展開

統一テーマ「パソコン 新たな挑戦 21世紀デジタル社会を創造する」に沿った特別パビリオンが各ゾーンに設けられた。総合受付を入ってすぐの場所には、近未来のデジタルライフを実現した「デジタルスペース21」が展開された。ここでは、間近に迫る21世紀のホームオフィスはどんなものになるかを焦点に、実際に会場内に「家」が建てられた。現在、開発されているIT機器を部屋の至るところに配備し、どのような使い道があるかを提案している。

なかでも注目されていたのが、「インターネット冷蔵庫」(開発元ブイシング)だ。冷蔵庫の前面扉に15インチのモニターが組み込まれ、音声入力でWWWブラウザを呼び出して今晚のメニューを決めたり、それに見合った料理方法を解説したり、必要な食材がインターネットを通して注文できたりと、さまざまな用途が紹介された。台所でも十分にIT技術が生かされる日も近そうだ。また、同じ台所に置かれた電気ポットでは、すでに

テストが開始されている「高齢者在宅安否確認システム」が紹介された(展示品はダミー)。象印マホービンが開発したこのシステムは、電気ポット本体に安否確認センサーを内蔵し、使用者が給湯すると信号を家庭内の電気配線に送信する仕組みになっている。この信号をデータ受信機で解読できるように変換したあと、電話回線を通じて朝夕2回の自動発信でネットワーク本部に通知し、ボランティアや医師が確認する。このため日常生活で使用される電気ポットがまったく使われなくなった場合には、直ちにボランティアや医師が訪問して安否を確認するようになっている。このほか、ホームサーバーを設置して、照明や空調、液晶ディスプレイなどがリモコン操作で総合的に管理でき、IEEE 1394を利用した家庭内ネットワーク配線設備も披露された。

また、オフィスゾーンでは1人1台の机と椅子、デスクトップパソコンといった今までの概念を覆し、レイアウトを固定せずにオフィス内を自由に移動して、近くにある通信

各種モバイルツールが勢揃い

ホール全体を回って、もっとも賑わいを見せていたのが、インターネットやモバイル製品を扱ったパーソナルパークだ。ここでは、従来のパーソナルユーザーだけでなく、ビジネスユーザーにも有益な情報が盛りだくさんだった。なかでも、新製品のミニノートイベント前に発表したメーカーのブースに多くの来場者が集まった。

ソニーはすでに発売しているCCDカメラ搭載の「VAIO ノートPCG-C1」を、使い方の提案を含めて紹介した。このほか、松下電器産業は、好評のLet's noteの新製品でCCDカメラや携帯電話のアダプターをオプションで接続できるA5ファイルサイズノートPC「Let's note comm/C33」を出展して人気を集めた。機器に触るのも大変なほどのにぎわいだった。さらに、6.7インチSVGA TFT液晶のウィンドウズ98搭載機「FIVA」を発売したカシオでは、数十台の試用機を一挙に展示したほか、英語版ウィンドウズCE搭載のバームサイズPCが参考出展された。また、12月に発売予定のモバイル用超小型プリンターとスキャナーを展示。プリンターはポータブルテープレコーダーサイズで、モバイルパソコンと一緒に持ち歩くのにちょうどいい。名刺大の印刷ができ、ワープロ文書をその場で確認したい場合に最適だ。

さらに、LG電子ジャパンでは英語版ウィンドウズCE搭載のハンドヘルドPC「PHENOM Express」を参考出展した。通



過去最高の集客を記録したWORLD PC EXPO 98会場

信用デバイスとして56KbpsのFAXモデムを内蔵している。また、シャープでは人気のザウルスラインアップのほかにウィンドウズCE搭載のカラーハンドヘルドPC「HC-1200」を出展した。バックライト付きの6.5型STNカラー液晶採用で、16MBのメモリー、33.6Kbpsモデム、IrDA端子を標準で装備し、オプションでデジタルカメラカードの装着もできる。しかし、シャープのCE機は企業向けの販売（すでに営業を開始）で、一般には発売する予定はないというのが残念だ。

ハンドヘルドPCは、企業向けにネットワーク対応に力を入れたり、データ連携機能やデータベースの共用など、オリジナルのアプリケーションを用意するメーカーが多いが、ここでは、ビジネスユーザーだけでなくパーソナルユーザーも注目と、両者の境目が表立って見えなくなっているようだ。

次世代通信W-CDMAをアピールするドコモ

インターネット/モバイルゾーン内でひときわ目立ったブースがドコモ（NTT移動通信網）だ。医療機関や船舶などに利用されている衛星移動通信サービスやポケットボード、Dialoなどのモバイルツール、ポケベルを利用した情報サービス「インフォネクスト」といった馴染みのサービスが勢揃いした。ブースの一角では次世代移動通信システムとして注目されている「広域帯CDMA」（W-

CDMA）を紹介。システムの説明のほか、開発中の機器をアクリルケースの中に収容して展示した。ISDN同等の通信品質を保ちながら、384Kbpsのデータ伝送ができる（フィールドトライアルでは最大2Mbpsの高速データ通信に成功している）ため、動画のデータ伝送も問題ないと考えられる。このため、参考出展されたW-CDMA対応機器も動画を意識したものとなっていた。移動テレビ電話の「モバイルビデオウェブホンD」や液晶画面を搭載した携帯電話型の「ビジュアルホンP」、ザウルス型の「モバイルマルチメディアコミュニケーターSH」やPCカード型端末が展示され、それぞれの機器が64Kbps対応（携帯電話型は32Kbps）、W-CDMAは2000年中のサービス開始を目指し、開発が進められている。

ソフトウェアゾーンで気になる新製品

日本アイ・ビー・エムでは、ホームページ作成ソフトの最新版「ホームページ・ビルダー2000」を参考出展した。ホームページ・ビルダー2000は、ダイナミックHTMLやカスケードリングスタイルシート（CSS）に対応し、テンプレートも充実してさらに使いや

すくなっている。3分割されたウィンドウで、WYSIWYGでのプレビューやサイトのディレクトリー構造、画像などの部品を一目で見られるなど、操作性が向上した。さらに、FTPによるファイル転送もこのソフト上でできるようになった。11月中旬発売の価格は14,800円を予定している。

東芝では、MPEG4を使用した映像配信ソフト「MobileMotion」を参考出展した。このソフトだけで、専用の機器を使わずに汎用のコンピュータや既存のネットワークでMPEG4画像の作成や編集ができる。これによって、動画を利用した魅力あるコンテンツを簡単に配信できるようになる。

次世代PCインターフェイスとiMacに注目

ハードウェアゾーンでは、次世代インターフェイスのIEEE 1394とUSBのパビリオンが出現。パネルで仕様を説明するほか、各社による参考出品があった。IEEE 1394関連では、ハードディスクやCardBUS対応のPCカード、ケーブル、計測機などが並んだ。USBは、iMac対応を謳ったものが多く、外観をiMacに似せた色合いのスケルトンタイプに仕上げた製品が多く展示された。松下電器産業/イメーションのiMac専用120Mバイトのスーパーディスクドライブやヤノ電器のフロッピーディスクドライブなど、iMacと並べるとまさに専用の周辺機器といった感じだ。さらに、これらのブースの横にはMacパビリオンがあり、iMacの体験スクールが開かれ、こちらも人気を博した。アップルのブースの混雑ぶりや総合受付の入り口付近に出現した巨大iMacなど、今回のWORLD PC EXPOの目玉の1つになっていた。

このほか、セキュリティー関連製品やグラフィックソフトなど至るところでビジネスユーザーとパーソナルユーザーの垣根なしの展示が行われた。21世紀の新技术を目の当たりにできた展示会であるうえに、注目の製品が目白押しで、334,978人といった過去最高の集客がこのイベントの興味深さを物語る格好となった。



IT技術を身近にするインターネット冷蔵庫



参考出展されたW-CDMA対応「モバイルビデオウェブホンD」



シャープから発売された法人用ハンドヘルドPC

新ペットに加えてメールソフト機能も充実 ペットがメールを運ぶ「ポストペット」の新バージョン登場!

昨年11月の発売からすでに13万個以上の売り上げを記録し、異例のヒットとなっている「ポストペット」(ソニーコミュニケーションネットワーク)その新バージョンの詳細がWORLD PC EXPOの会期中に発表された。新ペットの登場でペットが全部で8種類になり、メールソフトとしての機能が強化されたことが大きな特色。使いやすさがさらに増し、より広い層に訴えるソフトになっている。

編集部

趣向を凝らしたパッケージ販売

この新バージョンは「ポストペット2001」という名称で、12月12日にペットなどのミニフィギュアセットが付いたスペシャルパッケージ(5,980円)をまず発売し、追って12月25日に通常パッケージ(3,980円)を発売する予定だ。前バージョンと同様、各パッケージはハイブリッド版CD-ROMの同内容のものが入っており、1枚は自分で使い、1枚は親しい人にプレゼントして一緒に楽しもうというメッセージがこめられている。

ペットの行動がさらに バラエティー豊かに

新バージョンの特徴として、まずペットの数がこれまでの4種類から8種類に増えたことが挙げられる。新ペットはハムスター、フクロペンギン、イヌ、ひみつメカというラインアップで、事前に行ったペットのリクエスト募集結果を踏まえつつ、架空の動物まで登場したバラエティーにあふれたものだ。それぞれのペットの特性に合わせた



「ポストペット2001」の画面より。「ひみつメカ」がおもちゃのモモ人形と遊んでいる様子

アクションも披露されるのが楽しい

また、ペットの行動と世話についても新メニューが加わり、部屋に来たゲストを洗える、専用のおもちゃ、ペットがパワーアップするなどの効果を持つ「ふしぎおやつ」の登場など、これまで以上に多彩なペットの反応を楽しめるようになった。

新バージョンには「花」というテーマがあり、パッケージやフォルダーなどに花が散りばめられているが、さらにある条件のもとでペットでメール送信すると、ペットが花を配達に来る「花機能」が追加されている。どんな条件で配達されるのか、気になるところだろう。

メールソフト機能が増して セキュリティ対策も考慮

肝心のメールソフト機能では、ソート機能と文字検索が新たに追加された。また、一括送信も可能となり(ペットメールは不可)、APOPの設定もできるなど、ヘビーなメールユーザーの利用にも堪えうる設計となった。反面、メールの自動振り分け機能などは今回も付いていないのが残念なところだ。

ほかにも、アドレス帳にあたる「おともだち帳」が編集可能になったり、配達中にペットデータが壊れる事故を予防するため、バックアップが簡単にとれる機能を持つなど、ポストペットユーザーから以前より挙がっていた不満が解決された内容となっている。



スペシャルパッケージとおまけのミニフィギュア

「おもちゃを作っている感覚」 ～開発者の八谷氏

WORLD PC EXPO最終日には、多数のポストペットユーザーを集めて新バージョンの一般発表会が行われた。席上で開発者の八谷和彦氏が「ソフトウェアを作っているというより、おもちゃを作っているような感じです。だから、ポストペットには小さな遊びがたくさん詰まっています」と発言し、訪れたユーザーたちを沸かせていた。

「ポストペット2001」の発売に先駆け、ソネットが運営するポストペットユーザー向けのコミュニティーサイトである「ポストペットパーク」の大規模リニューアルも行われる。この号が発売するころには新しいコンテンツでお目見えしている予定だ。

また、現在ドイツとシンガポールでバージョンが公開中だが、シンガポール版については正規版の開発が進んでおり、「日本のポストペットユーザーが悔しがるようなものを作るとシンガポール版の開発者が言っていました。日本で買えるかどうかわかりませんが、僕も欲しいです(笑)」と八谷氏。海外エキシビジョンでの受賞も多いポストペットだけに、今後の展開も楽しみだ。

予告：11月28日発売の次号にて、「ポストペット2001」発売直前企画を行います。お楽しみに!
<http://www.so-net.ne.jp/postpet/>



新ペットの1つ「フクロペンギン」。

画面は開発中のものです。
 ©1996-1998 Sony Communication Network Corporation. All rights reserved.

NEWS COPE

Product

ネットワーク機能を標準装備した次世代ゲームマシン 「ドリームキャスト」29,800円で 11月27日に発売

セガ・エンタープライゼスは10月6日、都内のホテルで流通関係者やプレス関係者などを対象に「SEGA New Challenge Conference」を開催し、11月27日に発売の、モデムを標準装備した世界初のゲームマシン「Dreamcast」の価格やソフトウェアラインアップ、ネットワークサービスの展開などを発表した。編集部

次世代を担う家庭用情報端末

発表会の開催にあたって挨拶に立ったセガ・エンタープライゼス代表取締役会長の大川功氏は、従来のゲーム機との違いは通信機能を標準装備している点だということ強調し、「Dreamcastはゲーム機だけにとどまらず家庭用の情報端末として大きく発展していく製品になる」と発言した。

次いで壇上に立った入交昭一郎社長が、Dreamcastの価格が29,800円に決定したことを発表し、Dreamcastに同梱される通信ソフト「Dream Passport」の機能やネットワークサービスについて説明した。

これによると、同梱のDream Passportを使ってセガのホストサーバーに接続すれば、その場でIDが発行されて即座にインターネットにアクセスができるとのことだ。インターネットの接続料金に関しては、年内は無料を検討しているが、その後は従量課金制を採用する予定となっている。接続料金の支払い方法は、Dreamcastユーザー



左からセガの代表取締役社長の入交昭一郎氏、同社渉外・流通担当専務取締役の湯川英一氏、同社第二AM研究開発部部長の鈴木裕氏、セガ・ミュージス会長の毛塚敏郎氏、カブコン常務取締役の岡本吉起氏、セガの取締役の岡村秀樹氏

の多くがクレジットカードを所有していないと思われる低年齢層であることを意識して、コンビニエンスストアなどで購入できるプリペイドカード方式を利用する。もちろん、すでに加入しているプロバイダーを利用してインターネットにアクセスすることも可能だ。なお、当初のDream Passportには独自のWWWブラウザを搭載するが、近い将来にはマイクロソフト社のWWWブラウザ「インターネットエクスプローラ」を搭載する予定であるという。また、ウェブ・ティービー・ネットワークス社との提携により、来春にはDreamcastを使ってWebTVも楽しめるようになる。Dreamcast用のWebTVブラウザは現在開発中で、Dreamcastに同梱される申し込みはがきを送ると後日無料で送付される。

充実した ネットワークサービス

セガは、Dream Passportを使ったインターネットへのアクセス機能や電子メールの送受信機能だけでなく、Dreamcastユーザー向けにさまざまなインターネットのコンテンツサービスを展開する。まずはDreamcastの発売と同時にDreamcastオフィシャルホームページ「Dricas」をオープンする予定だ。DricasにはDream Passportを使えば即座にアクセスできる。このホームページではDreamcastに関する最新情報のほか、望月三起也氏ら著名なマンガ家による「日替わりマンガ」連載や日



着脱可能なモデムを標準装備した
Dreamcast本体と専用コントローラー

本地図上にDreamcastを利用しているユーザーがどこにいるかを表示する「どりーむまっぷ」、ネットワーク上のバーチャルメールフレンドにメールを送ると自分宛に返信が送られてくる「Mail Chum!」、Dreamcastの情報が送られてくるメール新聞「Daily DC News」などが予定されている。

また、Dreamcastと同時発売されるレーシングゲームソフト「セガラリー2」ではネットワーク対戦ができる。ただし、これはインターネットを使ったネットワーク対戦ではなく、セガのホストコンピュータにアクセスする方式となっている。通信サービス料は無料、電話料金は全国一律となっている。

ネットワーク機能を利用した 発売キャンペーン

セガではDreamcast発売キャンペーンとして発売日から来年1月20日まで、Dreamcastのネットワーク機能を利用した「ハンカチメール落としキャンペーン」を実施する。本体付属の「Dream Passport」を利用し、セガのサーバーにアクセスしてIDを登録すると、セガではIDを元に1分に1回抽選を行い、当選者には「ハンカチメール」と呼ばれる電子メールを送信する。一定時間以内にこの当選メールに気付いて返信をすれば、キャンペーングッズがもらえるというもの。

Dreamcastの充実したインターネットサービスやキャンペーンには、セガのネットワークにかける意気込みが強く感じられる。モデムを標準装備した世界初のゲームマシン「Dreamcast」は一般家庭をインターネットへと導く製品となることに間違いはないだろう。

URD <http://www.sega.co.jp/dreamcast/>

電話 / FAX / メールを統合したメッセージシステムを発表 テレポスト社の新サービスと展望

次世代コミュニケーションサービスを提供するCTI技術のグローバル企業、テレポスト社は、電話 / FAX / 電子メールを統合したエンドユーザー向けの新サービスを日本市場に導入していくとWORLD PC EXPO 98会場で発表した。この機に來日した米テレポスト社インターナショナル営業担当副社長のジョン・ブローシュ氏にこのサービスの概要と展望について聞いた。

編集部



米テレポスト社インターナショナル
営業担当副社長ジョン・ブローシュ氏

ティングと違って、会議の主催者のデスクトップからすべてをコントロールできるのが特徴」とブローシュ氏はいう。また、プレゼンテーションしたあとに、マイクロソフトワードやエクセルなどで作ったドキュメントの送信も行える。世界各地にいながら双方向の会議ができるのだ。

サービス開始は来年初頭

テレポスト社は、このサービスをプロバイダー向けに販売し、ユーザーはプロバイダーからサービスを受ける形になる。

ブローシュ氏はいう。「すでに持っているインフラやアプリケーションを使ってサービスをするというのがポイントです。すべての情報にブラウザでアクセスできるので、パソコンや電話の機器の違いは問題になりません。専用のサーバーも必要ないためSOHOや中小企業での使用にも適しています。従来は、自分の音声メッセージを確認するのに、国際電話をかけたたり、FAXも誰かを介して受け取ったりしなければなりませんでした。しかし、このシステムではインターネットに接続する環境さえあれば、低価格で利用できます。つまり、テレポストのサービスは新しいメッセージ管理の姿といえるでしょう。ビジネスでもパーソナルユースでも、コスト、機能性、生産性などあらゆる面でこれまでより優れたサービスだと思えます。そして、何よりもアピールしたいのは「楽しく利用できる」ということです」

なお、1999年1月より本サービスを稼働し、テレポストメッセージセンターの初年度会員数は10万人を目標としている。

URL <http://www.telepost.net/>

既存のインフラで利用できる メッセージサービス

「テレポストサービス」は、既存のインフラを利用して、電話、FAX、電子メールのメッセージを一括管理するサービスで、ビジネスユーザーだけでなくパーソナルユーザーまでも対象にしている。すでに7月よりサンフランシスコやロンドンなどで試用されているこのサービスでは、メッセージセンター、コンファレンスセンター、プレゼンテーションセンターなどを提供する。

テレポストメッセージセンターは、ネットワーク上に各自専用のメッセージボックス(電話番号とメールアドレス)を設置して、その番号に電話あるいはFAX、電子メールといったメッセージを送る。メディアに依存することなく、すべての情報をメッセージボックスで管理し、受信者はWWWブラウザ上でメッセージの有無や内容を確認できる。代表番号制を導入している日本の企業ではダイヤルインのように直接個人あてに電話をするのは難しい。このような場

合に、テレポストメッセージセンターを個人あてのFAXあるいは留守番電話サービスと考えればかなり有用だ。

サービスを利用するには一般の電話回線とインターネットに接続できる環境だけがあればよく、世界中どこからでも自分あてのメッセージを確認できる。さらに、電話を使って、FAXの受信の有無を確認したり、メールの文書を音声変換して読み出したりもできる。これによって、モバイルツールを持たなくても、外出先のパソコンや電話でメッセージを受けられるようになるのだ。

インターネットと電話を 組み合わせた会議システム

テレポストコンファレンスセンターでは、会議の主催者がウェブページから参加者を指定すると、テレポスト内のサーバーが電話をかけて参加者を増やし(同時に9人まで)、リアルタイムに電話を使った会議ができる。主催者は参加者個々に対して回線切断や保留、秘話、途中参加などを自在

に操れる。さらに、テレポストプレゼンテーションセンターを同時に利用すれば、マイクロソフトパワーポイントなどで作ったドキュメントをウェブ上で共有できる(200人まで)。電話で会話をしながら、ページの重要部分にポインターを指し示したり、チャットを併用できたりする。「ネットミー



テレポストコンファレンスセンターの設定画面

米コバルトネットワークス社CEOステファン・デウィット氏に聞く コバルトネットワークが切り開く シンサーバー市場

インターネットに特化したユニークなサーバーを販売しているコバルトネットワークス社の日本法人がこの10月に設立された。同社の製品によって、シンサーバーという今までにない小規模サーバーの市場が生まれている。今回は設立に合わせて来日したデウィット氏に同社の製品の特徴および販売戦略について聞いた。聞き手：編集部



Q：御社の製品は非常に低価格で販売されています（米国では99ドルから販売）。今までのサーバー製品というと非常に高価なイメージがあるのですが、この戦略的な価格のメリットはどこにあるのでしょうか。

デウィット：最初の製品コンセプトとしてインターネットに特化したサーバーを1000ドル以下で提供するというを考えていました。このような価格にすることで幅広い市場をターゲットにできます。中小企業から支社、教育施設といった比較的小規模なオフィスも市場として獲得できます。これは非常に大きな市場なのですが、今までの高価なサーバーでは獲得できませんでした。

また、一般の家庭という市場も考えています。しかし、この市場が成立するには価格のほかに製品の使いやすさや家庭への高速なネットワークが必要になります。価格に関していえば、ほかの電化製品と同じように700ドル以下でなければなりません。私



コバルトラック(写真左)とコバルトキューブの外觀



たちはこのような製品を提供できますが、市場の形成はネットワークを提供する会社に依存します。



Q：サーバーに要求されるのは信頼性ですが、この低価格な製品で信頼性を提供できるのでしょうか。

デウィット：サービスの提供を考えるとサーバーの信頼性は必要不可欠です。このため、アーキテクチャーには非常に力を入れました。また、キャッシュサーバー製品はクラスタリング機能によって信頼性を高めています。たとえばキャッシュキューブという製品には「インスタキャッシュ」という独自のクラスタリング技術によって最大6台までクラスタリングができます。他社のキャッシュサーバーの多くはホットスワップディスクなどによって非常に高い価格が設定されています。しかし、私たちは2000ドル以下の価格で提供し、必要に応じて拡張できるようにしています。



Q：すべての製品がサーバーOSとしてLinuxを採用していますが、これはどのような理由からでしょうか。

デウィット：すべてのアプリケーションにとって、これが一番いいというわけではありませんが、インターネットサーバーとしての機能を提供するにはLinuxが適していると判断したからです。なぜなら、開発者がLinuxのソースを使えるのでより信頼性の高いアプリケーションを作れるからです。ま



米コバルトネットワークス社CEOステファン・デウィット氏(写真右)とコバルトネットワークス社日本法人代表取締役 北島弘氏

た、Linuxはライセンスフリーなので製品の価格を下げられます。



Q：Linuxを含めた製品のサポート体制はどのようになっていますか。

デウィット：Linuxのサポートが心配だという声をよく聞きますが根拠のないことで、Linuxのサポート体制は非常にしっかりしています。ソースが公開されているので、世界中の開発者がサポートでき、日々進化させています。私はLinuxほど開発者による適切な指導があるOSはないと思っています。さらにコバルトネットワークス社ではどのような市場にどのようなアプリケーションを投入しても、すべてWWWを通じてパッチやソフトウェアを提供する予定です。



Q：御社の製品はサーバー製品としては珍しくデザインがすぐれていると思います。これも戦略の1つなのでしょうか。

デウィット：人々に喜んでもらう技術を作るのは非常に難しいことです。しかし、見て面白い製品であれば自然に興味を湧いてくるものです。そしてそれが技術を使う恐怖感を消してくれるかもしれません。iMacがいい例ですが、将来はさまざまなメーカーがデザインにすぐれた製品を提供してくれるでしょう。



Q：今後どのような製品を出す予定ですか。
デウィット：将来はファイアウォールなどの機能を持った製品を考えています。ただ、この業界では機能を何でも付け加える傾向がありますが、1台のコンピュータで何でもできる製品は避けたいと思っています。



ビッグバンで異業種や外資の参入が本格化 業界再編に拍車をかける インターネット証券トレード

長引く不況と市況の低迷で、証券業界は業界再編の真っ只中にある。なかでもインターネット証券トレードは、コスト削減により手数料を大きく下げてサービスを提供できるため、外資系企業をはじめ、ハイテク、通信、商社などの異業種も参入の機会を狙っているとされている。最近の動向を追ってみたい。 編集部

ソフトバンクは10月2日、子会社のイー・トレード株式会社（米国Eトレード社との合併会社）が中小証券会社の大沢証券の全発行済み株式を取得し、同社を買収したと発表した。今回の買収でイー・トレード社は、東京証券取引所の会員権および証券免許の両方を取得して、来年にもインターネットを使ったサービスを開始する。当面はインターネットのほかにも、コールセンターや自動音声応答システムを使った営業も展開していく。

また、10月6日には業界中堅の今川証券と三澤屋証券が対等合併を発表した。今

川証券は97年1月にインターネットを使ったサービスを始め、AOLや住友銀行との提携など積極的にサービスを充実させてきた。今回の合併は、両社のインターネット証券トレードを一体化させることでこの分野で確固たる地位を築き、激化する競争に打ち勝つのが狙いだ。合併新会社の社名は「今川・三澤屋証券株式会社」（仮称）。

一方、米国企業と組んで証券業務に参入すると一部で報じられたソニーだが、同社では10月14日現在「証券業務進出については提携先も含めて具体的なことは決まっていない」とコメントしており、噂され

る米国企業との合併会社設立を否定しながらも「規制緩和の流れを捉えてさまざまな可能性を模索している」と証券業務参入の可能性も示唆している。なお、ソニーはすでにグループ内に生命保険会社を持ち、来年は損保事業にも参入する予定だ。

98年4月よりインターネット証券トレードサービスを手がけている明光証券が、松下電器産業系のナショナル証券との対等合併を発表したのは9月30日。合併後の存続会社は明光証券で、インターネット分野も含めた今後の事業展開は未定だが、明光証券の現在のサービスは当面継続していくという。

米国では個人の株取引の2割を占めるインターネット証券トレードだが、日本での割合はまだ微々たるものに過ぎない。しかし日本でも除々に役者がそろう始めており、インターネット証券トレードを取り巻く環境からは今後も目が離せないだろう。



素早く簡単に社内ホームページを作成 イントラネット構築キットを無償配布

マイクロソフトは、NTサーバー、IIS、Office 97、FrontPage 98を使ったイントラネットソリューションを簡単に利用できる「イントラネットスピード構築キット」の無償配布を開始した。既存の4つのソフトをそれぞれ組み合わせれば、誰でも簡単にイントラネット環境を構築できるとして、マイクロソフトがイントラネットを提案する。 編集部

提供される「イントラネットスピード構築キット」は、ビジネスソリューションセンター、基本イントラネットテンプレート、イントラネットモジュール、プッシュ技術のサポートといった4種類の素材を収録している。HTML形式のマニュアルがベースで、さらに「他のグループとプロジェクトを共有」などの12種類のビジネスソリューションから目的のものを選ぶと7種類のイントラネットモジュール（チャンネル定義、データベースアプリケーション、自動更新ニュースなど）のうち2つが自動的に選択され、グラフィカルなマニュアルが表示さ

れる。これに従い、各種の設定を行えば掲示板やデータベース環境が作れる。CGIのプログラムを組まなくても、フロントページでASPを使った掲示板がテンプレートとして用意されている。また、アクセスとのデータ連携も簡単にできる。構築キットはマイクロソフトのホームページからダウンロードでき、さらに抽選で3,000名にFrontPage 98の日本語期間限定体験版とWindows NT 4.0 Option Packを一緒にしたスペシャルパッケージが当たるキャンペーンを11月末まで開催している。なお、本誌付録CD-ROMに構築キットとFrontPage 98の体験

版を収録している（CD-ROM収録先【B】Intranet）。

URL <http://www.microsoft.com/japan/>



イントラネットスピード構築キットのストーリー画面



検索画面などもテンプレートが用意されているので社内ホームページも簡単に作れる

Product NECが
モバイルギアの
新製品を発表

日本電気は、ウィンドウズCE 2.0搭載のカラー版モバイルギアの新製品「MC-R510」を発表した。これは、MC-R500の後継機で、変更点は、処理の速いIVR 4121CPUの採用、10時間の駆動時間、56 Kbps (V.90) のモデム内蔵、バックライトの輝度の多段階調整、開閉度170度など。専用のリチウムイオン充電電池のほかに、オプションでレスキュー乾電池パックが用意されており、単3形乾電池4本でも駆動できる。価格は110,000円。

問い合わせ 日本電気(株)TEL 03-3798-2088



デジタル携帯電話接続インターフェイスを収容

Product ケンウッドが
CD-ROMタイプのモノ対
応カーナビシステムを発売

ケンウッドは、情報通信ネットワークサービス「MONET (モノ)」に対応したカーナビゲーションシステム「GTZ-600W」を10月15日に発売した。本体の「GZ-600」と7インチワイドTV「LZ-770W」、VICS/FM多重チューナーをセットにした製品で、買ったその日からFM多重放送やTV放送が楽しめる。オプションのコミュニケーションユニット「MC-1000」で、携帯電話を使ってモノの情報を入手できる。

URL http://www.kenwoodcorp.com/j/news/nr_kenwood980924.html



価格はGTZ-600Wが198,000円、MC-1000は39,800円

Product ヤマハが中小規模ネット
ワーク向け小型軽量の
ルーターを発売

ヤマハは、動作の安定性や使いやすさで定評の「RT102i」の後継機種「RT103i」を10月1日に発売した。基本機能はRT102iと変わらないが、ファームウェア用のメモリー容量を2倍にしたほか、PIAFS通信にも対応した。ISDN番号による識別着信やパケットフィルタリング、PAP/CHAPなどでセキュリティーを確保するほか、データの暗号化や相手の認証を行うIPsec機能を搭載とVPN構築が可能になっている。

価格は158,000円。

問い合わせ ヤマハ(株)システム機器事業部 TEL 0539-63-0082



本体寸法はW164 x D120 x 30.5 (mm)

Product NECが
ワイヤレスTA専用
低価格子機を発売

日本電気は、ワイヤレスTAの「Aterm IW60シリーズ」専用子機(リモートステーション)「AtermRS10」を11月上旬に発売する。離れた場所でISDNを利用したい場合、従来はDSU内蔵のAtermIW60 HS DSUとAtermIW60を親子にして利用していた。しかし、この組み合わせは10万円以上かかるため、専用子機が発売された。9ピンのRS-232Cポート1つとブランチ接続できるアナログポートを1つ搭載している。価格は24,800円。

URL <http://aterm.cplaza.ne.jp/>



AtermIW60HS DSUとのセット販売も行う(74,800円)

Product オーディオテクニカが
雷サージからパソコンを
守るOAタップを発売

オーディオテクニカは、電源線と電話線の両方から侵入する雷サージによってパソコンやAV機器が故障しないように、これをガードするOAテーブルタップ「SURGE BUSTER ATC-SB11」を発売した。コンセント口は3個で、ケーブル長は1.5メートル。電話線は6極2芯モジュラー専用。モデムやDSUも接続できる。稼動状況を知る動作インジケータを装備。価格は6,000円

URL <http://www.audio-technica.co.jp/>



本体寸法はW130 x D64 x H205 (mm)

Product メガソフトが
TAで直接FAXを送れる
ISDN統合ツールを発売

メガソフトは、ウィンドウズ95/98/NT 4.0に対応したISDN統合コミュニケーションソフト「RVS-COM Lite」を11月6日に発売する。独RVS社により開発されたソフトで、5月に発売された「RVS-COM STANDARD」(28,000円)から、「TA FAX」、「ファイル転送」、「テレフォニー」の機能を取り出してウィンドウズ98に対応させた製品。FAXモデムがなくても直接FAXの送受信ができる。価格は9,800円。

URL <http://www.megasoft.co.jp/>



RVSファックスビューア画面

Product インCREMENTPが
文字をアニメーション化
させるメールソフトを発売

INCREMENTPは、文字をアニメーション化させて手軽に効果的なメッセージを送信できるメールソフト「ダイナミックタイポライター」を発売した。アニメーション文字はフォントを設定するような感覚でアニメーションの種類を指定できる。インパクトのある「動く」文字を作れるので、プレゼンテーションやホームページの素材にも利用できる。ウィンドウズ95/98/4.0対応。価格は7,800円で11月27日発売予定。

URL <http://www.incrementp.co.jp/pc/dynatypo/>



作成できる文字アニメーションの例

Product アドビシステムズが
ウェブグラフィックス
作成支援ツールを発表

アドビシステムズは、プロのウェブデザイナーでなくても、一般のユーザーが簡単に短時間でウェブページを作成して更新できる支援ツール「Adobe ImageStyler 日本語版」を来年1月に発売予定であると発表した。ユーザーインターフェイスがPhotoshopなどのほかのアドビ製品と同じなので、魅力的なグラフィックスを違和感なくページに加えられ、ウェブデザインを専門に勉強していなくても簡単に使用できる。

URL <http://www.adobe.co.jp/product/imagestyler/>



ウィンドウズ版、マック版ともに23,800円

Product 三井物産が
イントラネット対応の
電子会話サービスを開始

三井物産は、インターネットやイントラネット対応の電子会話サービス「キュリオホットライン」を開発し、10月よりサービスを開始した。登録しているユーザー同士でネットワークにつながっているかどうかが一目でわかり、リアルタイムに電子メールのやりとりができる。三井物産運営のサイバーモール「キュリオシティ」が開発したもので、バナー広告によって運営される。ウィンドウズ95/NT4.0用で利用は無料。

URL <http://www.curio-city.com/>



オフィスでも利用できる会話ツール

Product エイチツーソフトが
メール専用暗号化
ユーティリティーを発売

エイチツーソフトは、インターネットを流れる電子メール専用の暗号化ユーティリティーソフト「暗号メール」を発売した。暗号化したい文章の一部をコピーして、アイコンをクリックし、暗証鍵を入力するだけで暗号メールができていく。ウィンドウズのエクスプローラでファイルを直接指定して暗号化することもできる。受け手側はソフトを持っていなくてもよい。ただし、ウィンドウズ環境専用。価格は6,800円。

URL <http://www.h2soft.co.jp/>



メール作成側はウィンドウズ95/98/NT4.0環境

Product 東芝が
チャット翻訳機能搭載の
翻訳ソフトを発売

東芝は、チャット翻訳機能やインターネットニュースとメールの翻訳機能を搭載した「The翻訳インターネットV3.0」を発売した。24万語の英日辞書と12万語の日英辞書を搭載したほか、翻訳スピードと精度が前バージョンより向上している。HTML 3.2への対応に伴って対応タグ数が増加し、原文のレイアウトをより忠実に維持して翻訳できるようになっている。ウィンドウズ95/98/NT4.0用。

URL <http://eiplaza.toshiba.co.jp/>



価格は英日/日英版が16,800円、英日版が12,800円

Product ロゴヴィスタから
初の本格的日英
翻訳ソフトが発売

カテナは、ロゴヴィスタブランドのウィンドウズ版日英翻訳ソフト「JtoE Ver.1.0」を発売した。翻訳エンジンは、構文解析のほか、辞書に意味情報を持たせてより高い翻訳精度を実現する「意味トランスファー方式」を採用。これは、翻訳しようとする単語が人名か物なのかを区別し、より正確な英文にする仕組み。また、辞書引きや訳語置換といった編集機能が並行して使える「対話型翻訳」を装備。価格は59,800円。

URL <http://www.catena.co.jp/sp/>



一般辞書84,000語で、別途専門辞書も発売

Product ソニーが
動画ファイルに対応した
画像管理ソフトを発売

ソニーは、大量のデジタル画像を管理するデジタルフォトマネージャーの最新バージョン「PictureGear Ver.3.0」を11月10日に発売する。動画ファイル（対応フォーマットはMPEG1とAVI）も静止画同様に一元管理ができるようになったほか、複数の画像を合わせて1枚のパノラマ画像を作成し、HTML化してホームページにアップロードできるなどの新機能が満載。ウィンドウズ95/98/NT4.0用。価格は9,800円。

URL <http://www.sony.co.jp/ProductsPark/Models/>



静止画、動画ともにサムネイル表示ができる

Product エー・アイ・ソフトがデジカ
メの画像をDPE感覚
で印刷するソフトを発売

エー・アイ・ソフトは、デジタルカメラで撮影した画像を簡単できれいに印刷する「デジカメde!! 同時プリント」を11月20日に発売する。デジカメからダウンロードした画像を一括で自動補正し、印刷物はDPEサービスに匹敵するものを家庭のカラーインクジェットプリンターで実現させている。インデックスプリント、焼き増し、シールプリントなど6種類のDPEコースがある。ウィンドウズ95/98/NT4.0用で6,800円。

URL <http://www.aisoft.co.jp/>



わかりやすいIGUIで保存、管理ができる

Product トワイライトエク
プレスが本格派オンライン
ゴルフゲームを発売

トワイライトエクプレスは、インターネットを利用して全国のプレイヤーとオンライン対戦のできるゴルフゲーム「ゴルフオンライン98」を10月3日に発売した。IPアドレスの入力なしに、専用プログラムから直接サーバーにアクセスできる簡単設計。日本の実在するコースが収録され、毎週土曜日にトーナメントが開催される。10位までの入賞者には賞品が贈られる。ウィンドウズ95/98用で、価格は9,800円。

URL <http://www.twilight.co.jp/>



最大解像度1600×1200ピクセルで迫力の画像

Product トランソフトが
文書管理データベース
ソフトウェアを発売

トランソフトは、サンビジネスと共同開発した文書管理データベースソフトウェア「PDFエクスプローラ」を発売した。PDFファイルを効率的に管理し、データベースの知識がなくても簡単に電子ファイリングシステムを構築できる。ドキュメントを登録すると自動的に全文検索インデックスを作成してあとで絞り込み検索ができる。ソフト、一括プリントなども可能。ウィンドウズ95/98/NT4.0用。価格は29,800円。

URL <http://www.transoft.co.jp/>



PDFファイルを一括管理し、検索もできる

Product マックザウルスが
ネットワークで利用できる
動画作成キットを発売

マルチメディアソリューションを提案するマックザウルスがインターネットやイントラネットなど、ネットワーク用のビデオ動画を作成するオールインワンのネットワークビデオキット「Cue!」を発売した。MPEG1デジタルビデオ（DV）キャプチャボード、DVキャプチャソフト、DV編集ソフト、BGM自動作曲ソフト、DVライブラリービューアー、DV圧縮ソフト、Cue! QMプレイヤー、DV制作トレーニングCD、「Club Cue!」無償入会の全9点をセット。Cue!はMPEG1データに加えてビデオデータの圧縮ソフトである「QualityMotion」を採用し、MPEG1データをさらに1/50に圧縮してネットワークで動画を利用しやすくした。

URL <http://www.macsaurus.co.jp/>

Product アルファ・オメガソフト
がオンラインヘルプ
デスクシステムを発売

アルファ・オメガソフトは、インターネットを利用したヘルプデスクシステム「Foot Prints Ver 2.2」を発売した。WWWブラウザと電子メールさえあれば、どんなコンピュータでも社内外を問わずに利用できる。Foot Printsは、UNIXやウィンドウズNTサーバー上に常駐するので、プラットフォームに依存せず、どんなクライアントからもアクセス可能。ウェブベースで管理するためカスタマイズも簡単ですぐに導入できる。

URL <http://www.alphaomega.co.jp/footprints/>



評価版がホームページからダウンロード可能

Product ANA ビジネスクリエイトが イントラネット用 パッケージソフトを発売

ANA ビジネスクリエイトは、数十名から500名規模の中小企業で利用できる簡易グループウェアパッケージ「in 虎の巻」を発売した。特別なプログラミング知識を必要とせず、現在使用しているウェブサーバーにインストールするだけですぐに使える。標準パッケージは、掲示板、施設・備品予約、スケジューラー、アドレス帳の4項目で構成される。ウェブベースでカスタマイズが可能。

問い合わせ ANA ビジネスクリエイト 総機 TEL 03-3224-2511



スケジューラー画面。クライアントライセンスフリーで推定実売価格は50万円程度

Product ファイルメーカーが カード型データベース ソフトの最新版を発売

ファイルメーカー社は、カード型データベースソフトの最新版「ファイルメーカーPro 4.1」を10月末に発売する。現行バージョン4.0機能をそのままに、企業ユーザーのデータベース管理システム(DBMS)に有効なODBC(Open DataBase Connectivity)のインポートをサポートした。このため、ウィンドウズとMac OSの完全プラットフォームの実現やウィンドウズ98に対応し、企業を中心に使いやすい製品を提供する。

URL <http://www.filemaker.co.jp/>



ウィンドウズ版、マック版ともに39,000円。ハイブリッド版(2ユーザーライセンス)は59,000円

Product 三菱商事が ウェブアプリケーション サーバー新製品を発売

三菱商事は、国内総販売代理店をつとめる米アレイア社開発のウェブアプリケーションサーバー「ColdFusion 4.0 日本語版」を発表した。ColdFusionは高性能なウェブアプリケーションであるほか、WWWブラウザ、サーバー、データベースをウェブアプリケーションに統合する開発プラットフォームとして定評がある。アレイア社が独自に開発したCFML(HTMLに似たマークアップ言語)で、パワフルでダイナミックなウェブアプリケーションの開発を、簡単、短期間、低コストで実現する。新バージョンではさらに生産が向上し、複雑で大規模なサイトへのスケラビリティが強化された。製品ラインは3種類で12月中旬発売予定。

URL <http://b-factory.com/jp/allaire/pr980924/>

Product テラネットプロダクトが ネット上に家を作るコミュニ ケーションソフトを発売

テラネットプロダクトは、インターネット上に自分の家が持てるコミュニケーションツール「ログハウス」を12月に発売する。自分の部屋を作り、そこがブラウザやメール、ホームページの役割を果たす。自分好みの部屋や周囲の草木の成長、動物の出現と使ううちに次第に変化が出てくる。また、見知らぬ人からの贈り物やチャット、友人の家を訪問といった遊びの要素が盛りだくさん。ウィンドウズ95/98用。

URL <http://loghouse.terra.ksp.or.jp/>



インターネットに作った部屋の例

Service バリアフリーが ホームページの「漢字URL」 実験サービスを開始

バリアフリーは、インターネットのホームページのURLに漢字やひらがなを利用できる新しい技術「漢字URL(仮称)」を開発、9月15日より実験サービスを開始した。漢字やひらがな、カタカナ、記号などの全角文字をURLに使用できるので、普通の日本語で入力でき、ホームページへアクセスしやすくなる。実験サービスの第1弾は主要官庁ホームページへの転送サービスが設定されている(例 <http://RURL.NET/首相官邸>)。また、法人名や団体名を漢字などの表記のままURLに使える(例 <http://RURL.NET/〒235-0036/バリアフリー>)。実験サービスのため、動作環境の変更や利用者数が制限される場合がある。

URL <http://TEL.TO/045-776-3524/> (バリアフリー)

URL <http://RURL.NET/> (実験用)

Service ポイントキャストが ポイントキャストネット ワーク最新版を提供開始

ポイントキャストは、10月16日より同社のインターネット情報配信サービスを受信するためのクライアントソフトの最新版「ポイントキャストネットワーク2.6日本語版」の提供を開始した。初回更新時の時間が従来バージョンの2.0と比較し、約30%短縮されるなどパフォーマンスが向上したほか、IPマルチキャストに対応、ネットワーク負荷を軽減した。2.0および2.6ベータ版からの自動差分アップデートが可能。

URL <http://www.pointcast.ne.jp/>



シネマ情報や新刊書籍情報も追加された

Service

産経Web-S、電子朝刊の記事配信サービスがクレジットカード決済を採用

産経新聞社が発行する電子新聞「産経Web-S」と「産経電子朝刊」が、10月よりオンラインでクレジットカードによる申し込みができるようになった。同時に本格的なインターネット商用サービスとして専用のサーバーをPeople内に設置した。「産経Web-S」はインタラクティブ型の電子新聞で、朝刊のほぼ全部の記事と夕刊の主要な記事や速報を掲載。過去5年の産経新聞の記事検索もできる。個人読者は1か月2,000円、法人（1口4ID）は5,000円で「産経電子朝刊」も利用できる。「産経電子朝刊」は一部を除きフルテキストで収録されたダウンロード型の新聞。朝刊が早朝4時までに入手できる。1か月1,000円（法人は2,500円）。

URL <http://sankei.supermall.ne.jp/>

Service

関西シンシアールが京都・滋賀エリア限定情報発信型検索サイト開始

関西シンシアールは、情報発信型検索サイト「LOOKPAGE」を9月より開始した。ほかの検索サイトと違い、京都、滋賀エリアに限定している。地域密着型で、県下の法人、個人の事業所約32万件のNTTタウンページデータベースを持ち、このため名前や住所、電話番号、業種の検索ができる。また、データとの連動で地図情報などが載った関連ホームページも案内でき、NTTの104番号案内よりも強力にサービスを提供できるという。

URL <http://www.lookpage.co.jp/>



検索の入口から目的の 카테고리 を選ぶ

Service

オプトがホームページのメールアドレス自動抽出サービスを開始

ダイレクトマーケティング会社のオプトは、指定のホームページに掲載されているウェブ管理者や問い合わせ先などのメールアドレスを自動的に抽出してきて、データベース構築をアウトソーシングするサービスを開始した。独自ソフトの「あつメール君」を使い、Yahoo!などの検索サイトやホームページ、リンク集を集めたCD-ROMから指定のホームページを検索して、その中にある抽出したいメールアドレスを自動的に収集する。これにより、手間やコストが削減できるというもの。料金はアドレス1件につき100円（ミニマムチャージ2000件より）で、自社のホームページの活性化などを狙って、リンク貼りを依頼する企業や個人を対象に販売する。

URL <http://www.optdm.co.jp/mail/>

Service

アステル東京が位置情報のデータ通信型商用サービスを開始

アステル東京は、一般のユーザー向けに「位置情報サービス データ通信型（Pナビ/データ）」を10月15日より開始し、7月から試行されていたサービスが本稼働する。Pナビ/データはアステル電話機でデータ通信をしているノートパソコンや携帯情報端末に、通信している人の現在地付近の地図やレストラン情報を取り出せるサービス（Mapionや駅前探検倶楽部などを利用）。さらに企業が独自にアプリケーションシステムを作成すれば、位置情報を利用したビジネス用システムが構築できる機能も持っている。サービスの利用には特別な手続きはいらないが、Pナビ/データ対応のアステル電話機とデータカードが必要。

URL <http://www.astel.co.jp/tokyo/news/981001.html>

Service

トーマンエレクトロニクスがプラグイン/サーバー不要のライブ中継を実験

トーマンエレクトロニクスは、米国でリリースが予定されているノープラグイン、ノーサーバーソフトで、通常のウェブサーバーからストリーミングオーディオをライブ中継できる「Emblaze AudioLiveFeed」ベータ版を使って実験ライブ放送を行った。中継されたのは、10月3日、4日に成田山新勝寺で開催された関東一の和太鼓祭り「感動成田劇場」。インターネット放送局のMegaTV Communicationの協力で実験的に放送された。「Emblaze AudioLiveFeed」は、イスラエルのGEO Interactive Media Group社が開発した製品でウィンドウズ95/98/NT4.0用。プラグインソフトや専用サーバーが不要なので安価なライブ中継ができる。

URL <http://www.jp.emblaze.com/>

Service

加データコム社が日本でパナー広告サービスを開始

インターネットパナー広告業界で成長を遂げるカナダのデータコム社が日本法人を設立、10月より日本でのパナー広告サービスを開始した。データコム社は最新のサーバーシステムと独自開発のソフトウェアにより、広告スポンサーおよび広告掲載サイトに対するパナー広告の効果状況をリアルタイムに分析する。さらにパナー広告スポンサーには、リーズナブルだが最大の広告効果をもたらせるよう、カテゴリー分けされたサイトを選択、的を絞った広告サービスを提供する。一方のパナー広告掲載サイトには、大手一流企業のパナー広告を掲載するうえ、1クリックごとにUS \$ 10セント（約13円）を支払う仕組みになっている。

URL <http://japan.datais.com/>

Service 窓の杜が 電子メールでの 情報提供サービスを開始

ウィンドウズ用オンラインソフトの紹介サイト「窓の杜」は、電子メールによる情報提供サービスを10月15日より開始する。「窓の杜」はソフトウェアのダウンロードサービスやオンラインソフト利用者に対する最新情報および内容評価記事の掲載で、月間80万人が利用している。新しいメールサービスでは、世界中ででき上がったウィンドウズ用オンラインソフトの情報をいち早くキャッチし、最新アップデート情報やニュース、登録情報、推薦ソフト紹介、コラムなどを掲載する。配信は毎日1回で購読は無料。ウェブと合わせた広告収入でサービスを運営し、半年後には購読者数10万人を目指す。

URL <http://www.forest.impress.co.jp/> (窓の杜)
URL <http://www.ips.co.jp/> (購読受付)

Service DAJがいつでもほしい イメージを購入できる 新サービスを開始

デジタルアーカイブ・ジャパンは、インターネットを使って、いつでも好みの画像が購入できるサービスを開始した。広告や雑誌などで活躍するフォトグラファーによる高品質写真が50,000点以上用意され、毎週1,000点以上の新作がアップされる。ホームページから画像を選び、クレジットカードなどの決済方法を指定する。ウェブ用の72dpiイメージで2,000円 (DAJメンバーになると1,000円)。

URL <http://www.daj.ne.jp/>



カテゴリーでサムネイル表示されている

Technology W3Cが「DOM Level 1」を 勧告、DHTMLの相互運用 の実現へ

W3Cは10月1日「DOM Level 1」をW3C勧告として公開した。DOM (Document Object Model) は、HTMLやXMLで作られた文書やデータをJavaなどのプログラミング言語から操作するためのAPIの仕様で、文書の内容や構造、スタイルをダイナミックにアクセスするための、プラットフォームや言語に依存しないインターフェイスの基礎を定義している。DOM Level 1では、HTMLとXMLを表現するためにオブジェクトをどう組み合わせ、どうアクセスするかといったインターフェイスの標準化を提供している。WWWブラウザ間の相互運用性を提供するだけでなく、HTMLやXMLのツールを拡張するための方法を統一できるものだとしている。

URL <http://www.w3.org/Press/1998/DOM-REC>

Company Yahoo! JAPANが ミュージック・ブルーバード と提携し新サービス開始

ヤフーは、N2K JAPANが運営する世界最大のタイトル数を誇るオンラインCDショップの「ミュージック・ブルーバード」と自社が運営する検索サイト「Yahoo! JAPAN」との間で業務提携を行い、10月7日から新サービスを開始した。具体的には、Yahoo! JAPANで音楽アーティストの名前を入れると、関連ホームページのリストが表示されると同時に、ミュージック・ブルーバードが提供するそのアーティストのディスコグラフィへ導くアイコンがYahoo! JAPAN上に表示される。クリックするとCDが注文できるようにディスコグラフィ一覧画面になる。このため、わざわざ音楽サイトへ行かなくても簡単に音楽CDが手に入るようになる。

URL <http://www.yahoo.co.jp/>

Event Internet Week 98 オンライン受付を 開始

インターネットの現在と未来を知る「Internet Week 98」が12月15日から18日まで、国立京都国際会館(京都市)で開催される。日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)や日本インターネット技術計画委員会(JEPG/IP) WIDEプロジェクトなど各参加団体主催のIP MeetingやInternet Conference、Java Conferenceなどをこの期間に集中開催させるほか、今年はチュートリアルやワークショップをInternet Weekの共同企画として運営する。ウェブページよりオンラインで参加申し込みができ、参加料は各プログラムにより異なる。なお、11月2日までにオンラインで申し込むと早期割引で、参加料が割安になっている(詳細は下記URLを参照)。

URL <http://www.nic.ad.jp/iw98/>

Contest エレクトロニックアート イベント「イート金沢」が アワード作品募集

石川県金沢市が中心になって開催しているエレクトロニックアートフェスティバル「eAT KANAZAWA」(イート金沢)が、イベントの開催に先立ってアワード作品の募集を開始した。テーマは「深み或いは越境」で、応募は年齢やプロ/アマの別を問わない。インターネット部門と動画部門があり、応募締め切りは99年1月14日(木)。入賞者には楯と副賞(ナナオ、アイ・オー・データ製品)がそれぞれ贈られるほか、99年2月25日(木)~27日(土)に開催されるイベントに招待される。贈賞式は99年2月25日(木)に金沢市民芸術ホールで行われる。応募要項の詳細は下記URLを参照。

URL <http://www.iaa.or.jp/eat/>
問い合わせ イート金沢実行委員会
TEL 076-220-2031

Event イベントカレンダー(1998年10月~1月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へお確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
10月29日	10月30日	Computer Telephony Conference & Exposition Japan98 URL http://www.ctexpoJapan.co.jp/	世界最大規模のCT国際トレードショー。CTに関する最新製品や技術が一堂に集結。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1-1	主 関 ミラーフリーマンジャパン Tel.03-3669-5811
11月4日	11月6日	Windows NT INTRANET Solutions Tokyo98 URL http://www.sbfforums.co.jp/wntis98/	ウィンドウズNTやイントラネット関連の機器およびソフトの展示のほか、企業/ネットワークアプリケーション展望など、カンファレンスも開催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ソフトバンクフォーラム Tel.03-5642-8433
11月10日	11月13日	COM JAPAN 1998 URL http://www.comJapan.gr.jp/	情報と通信に関する総合展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 通信機械工業会(CIAJ)(社)日本電子工業振興協会(JEIDA)(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(JPSA) 関 COM JAPAN 実施協議会事務局 Tel.03-3231-8788 Fax.03-3231-8789
11月11日	11月12日	The Perl Conference JAPAN URL http://www.oreilly.co.jp/perl.htm	プログラミング言語「Perl」に特化した唯一のカンファレンス。チュートリアルとワークショップによる2トラック構成。	パークハイアット東京 39階 東京都新宿区西新宿3-7-1-2	主 関 オライリー・ジャパン The Perl Conference 事務局 Tel.03-3356-5227 Fax.03-3356-5261
11月11日	11月13日	'98 国際放送機器展 URL http://home.jesa.or.jp/guide/bee98/	音と映像のプロフェッショナル展。放送関連、CATV関連、プロオーディオ機器などの機材が多数出展。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 (社)日本電子機械工業会(EIAJ) 関 日本エレクトロニクスショー協会 Tel.03-5402-7601 Fax.03-5402-7605
11月18日	11月20日	MST'98 (マイコンシステム&ツールフェア) URL http://www.jasa.or.jp/mst98/	アジア最大の組み込みアプリケーションの設計・開発に関するソフトやハードの応用技術展。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 関 日本システムハウス協会 Tel.03-3668-3151
11月25日	11月27日	ContentCreation+NICOGRAPH 98 URL http://www.nikkei.co.jp/events/cen/	2D/3DCGとデジタルデザイン、コンテンツの制作およびデジタル作品の流通にかかわる展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 (財)マルチメディアコンテンツ振興協会、日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel.03-5255-2847 Fax.03-5255-2860
12月2日	12月2日	RealNetworks Conference/Tokyo'98 URL http://www.jp.real.com/conference/	米国メディアにおけるインターネットビジネスの最新動向やイントラネット活用事例、業界著名人による講演を通じて日本におけるインターネットメディアの可能性を知る展示会。	東京国際フォーラムCホール 東京都千代田区大手町1-9-5	主 関 RealNetworks Conference/Tokyo'98 事務局 Tel.03-5351-8261 Fax.03-5371-9315
12月2日	12月4日	'98 国際画像機器展 URL http://tokyoweb.or.jp/oe/gazoten/	光源や計測用機器、画像処理機器、ディスプレイ装置、画像記憶/記録装置など一連の画像機器に関する総合展示会。	パシフィコ横浜 神奈川県横浜市西区みなとみらい11-1	主 日本画像・計測機器協議会 関 精機通信社 Tel.03-3367-0571 Fax03-3368-1519
12月15日	12月18日	Internet Week 98 URL http://www.nic.ad.jp/iw98/	インターネットにかかわる技術の研究や開発、構築、運用、利用する人々が一堂に会して、インターネットに関する各種会合を集中して開催するイベント。	国立京都国際会館 京都府京都市左京区宝ヶ池	主 関 Internet Week 98 実行委員会(JPNIC内) E-mail iw98@nic.ad.jp
12月16日	12月17日	Oracle Open World 1998 URL http://www.oracle.co.jp/ooow/exhibitor/	日本オラクルのプライベートショー。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 関 日本オラクル Oracle OpenWorld 1998 運営事務局 E-mail oow@jp.oracle.com

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
11月9日	11月10日	Streaming Media '98 URL http://www.firstconf.com/c43/	インターネットのストリーミング技術に関する国際会議と展示会。	Grand Hyatt San Francisco San Francisco, CA, USA	関 First Conferences Tel.+1-800-814-3459 Fax.+1-800-814-3460
11月16日	11月20日	COMDEX/Fall '98 URL http://www.comdex.com/	世界最大のコンピュータ関連の総合展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, NV, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel.03-5642-8433
12月2日	12月4日	Digital Content Creation URL http://www.dccexpo.com/	デジタルコンテンツの制作に関する展示会とセミナー。	Los Angeles Convention Center Los Angeles, CA, USA	関 Advanstar Communications Digital Media Group Tel.+1-714-513-8400 Fax.+1-714-513-8612
12月7日	12月10日	COMDEX/Enterprise New York '98 URL http://www.comdex.com/	プロフェッショナル向けのインターネットテクノロジーに関する展示会、カンファレンス。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel.03-5642-8433
12月7日	12月10日	Java Business Expo URL http://www.javaexpo.zdevents.com/	企業向けのJavaテクノロジーソリューションに焦点を当てた展示会とチュートリアル、カンファレンス。COMDEX/Enterprise New York '98 併催。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel.03-5642-8433
1月4日	1月8日	MACWORLD Expo 1999 URL http://www.macworldexpo.com/mw99/	マッキントッシュ関連の総合展示会。	Moscone Convention Center San Francisco, CA, USA	関 IDG Expo Management Company Tel.+1-781-551-9800 Fax.+1-781-440-0357
1月7日	1月10日	1999 International Consumer Electronics Showcase(CES) URL http://www.cesweb.org/newsite/	電化製品や情報家電など、電気機器に関する総合展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, NV, USA	関 CES General Info Tel.+1-703-907-7605 Fax.+1-703-907-7692



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp